

1 教科・単元名

算数科 「三角形と四角形」

2 本時の目標

- 図形を弁別する活動などを通して、三角形、四角形についての理解を確実にし、説明することができる。 (思考・判断・表現)

3 本時のねらいは達成されたか

- ・ 三角形・四角形の弁別はできた。また、説明においては、2名のうち1名が定義を繰り返すことにより発表できた。
- ・ ワークシートでは、2名ともペア学習をさせたことで、弁別した理由を書くことができた。このことから、教科のねらいはほぼ達成できた。

4 目標達成のための手立てと成果

(1) 情報活用能力の育成

- デジタル教材を使って、弁別する操作ができる視覚支援を取り入れたことで、本時のめあてを明確にもたせることができた。
- パワーポイントを活用し、三角形・四角形の弁別をクイズ形式で提示していくことで、最後まで集中して学習することができた。

(2) 主体的な学び

- ペアトークを取り入れ、考えを共有したことで、自分の言葉で説明をすることができた。
- 情報機器を活用する場面を工夫することで、主体的に学ぶ姿勢を継続することができた。

5 課題

- 定義にある「直線」では、ものさしを使って直線を引くことや「頂点」「囲まれている」では、指でなぞったり、手をつないで囲んだりするなど、しっかりとイメージ化させる活動を取り入れる必要があった。
- 図(児童用)のカードを板書に取り入れるなら、もう少し大きくすべきだった。
- クイズでは、2人ともが確実に参加できるよう、○×カードや、三角形・四角形カードを準備しておくとうよかった。

6 協議会・指導助言・講話を受けて

- ・ 児童のつまづきを想定し、その克服に向けた手立てを考えることが、「分かる」「楽しい」授業の想像につながる事が分かった。

